

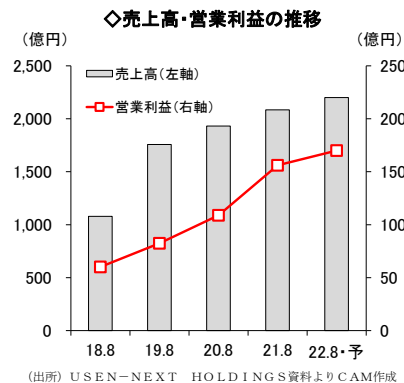
企業ニュース USEN-NEXT HOLDINGS

(東証プライム : 9418) <https://usen-next.co.jp/>

作成者:村上大志

定額制動画配信サービス「U-NEXT」を運営

2017年にU-NEXTとUSENの経営統合により設立。店舗サービスをコア事業とし、コンテンツ配信や通信事業なども展開。店舗サービスでは、国内シェアトップの店舗向け音楽配信サービスに加え、POSレジなどの店舗DX（デジタルトランスフォーメーション）ソリューションを提供する。コンテンツ配信では、定額制動画配信サービス「U-NEXT」を運営。圧倒的なコンテンツ数に加え、毎月のポイント付与などで差別化を図っている。通信では、インターネット回線の販売代理店を展開するほか、オフィスのICT環境構築の提案、販売なども行っている。21.8期の事業別売上高構成比は店舗サービス27%、通信22%、業務用システム9%、コンテンツ配信29%、エネルギー13%。



全事業で増収、通期計画に対する進捗率は順調に推移

22.8期・第2四半期累計(9-2月)の連結業績は売上高が1,140億円、前年同期比13%増、営業利益が88億円、同10%増。全事業で増収、通期計画に対する進捗率は売上高、営業利益ともに52%と順調。コンテンツ配信はユーザー数の増加で大幅増収だが、営業利益はテレビCMなどの販促費の増加で横ばい。通信は大型顧客の経営破綻の影響があったが、法人向けICTなどの拡大で大幅増益を達成。業務用システムはIT補助金を追い風に、機器販売が増加し増収増益となった。

22.8期の会社計画は売上高が2,200億円、前期比6%増、営業利益が170億円、同9%増。「U-NEXT」の国内シェアは「Netflix」、「アマゾン プライム ビデオ」に次ぐ3位で、日本の事業者としては最も高いシェアを持つ。新コンテンツとして知育アニメの配信を開始。未就学児の動画視聴ニーズは高まっている模様で、ユーザー数の拡大が期待される。店舗サービスでは音楽配信で築いた顧客基盤を生かし、セルフレジや配膳ロボットなどの店舗DXソリューションの導入を進める。業務用システムでは、2021年10月より本格運用を開始した顔認証付きカードリーダー「マイナタッチ」の導入が進んでおり、業績への貢献が期待される。

【株価動向・投資判断】

音楽配信サービスで安定して利益を創出し、コンテンツ配信や店舗DXソリューションなどの高成長事業に積極投資することで、持続的な成長が期待できよう。

<9418 USENHHD 業績：日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.8	193,192 (10)	10,883 (32)	10,093 (51)	4,909 (▲19)	81.7	8.00
21.8	208,351 (8)	15,608 (43)	14,768 (46)	8,044 (64)	133.9	13.50
22.8 予	220,000 (6)	17,000 (9)	16,000 (8)	8,500 (6)	141.5	15.00

(注) 22.8期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用、22.8期・予の伸び率は適用前の前期の連結業績を基に計算



【主要株価指標】 (売買単位：100株)	
株価 (2022/4/15)	2,324 円
年初来高値 (高値日)	3,220 円 (22/1/13)
同 安値 (安値日)	2,132 円 (22/4/12)
予想 P E R (22.8 予)	16.4 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	598.6 円
P B R	3.88 倍
予想配当利回り	0.65 %
(1株当たり配当金年15.00円)	
R O E (21.8)	27.2 %
発行済み株式数	6,008 万株